

砺波市出町中央に 「ちやいむ」が響き渡りました

第3回は6月25日(日) 13時～15時に善行寺さんで開催！
約30名の参加がありました。



「ちやいむ」は3つの場を創ります！

①「学び」の場

今回のテーマ 自分らしく生きるを探す

自分自身とどう向き合っていくのか、そのヒントは人間関係の中にありました。人間関係の中に生き、誰かにとってのかけがえのない人であること、また、誰かにとっての大切な人になることが、自分らしく生きることではないかと学びました。生きることを通して死を考え、「合う人に会う」というワードは共感を呼びましたね。



②「楽しむ」場

今回のテーマ 音を奏でる

季節の歌は「夏が来ぬ」を選びました。「高原列車」では志気を高め一体感を味わい、「てんとうむしのサンバ」では楽器をもって集まりました。スカーフの活動では「ダンシングクイーン」&「ダンシングキング」になりきり、あっという間の時間でした。



③「語り」の場

年を重ねると増えてくる、からだのお悩みを一緒に聞かせていただきました。

皆様のお声 (アンケートより一部抜粋)

- 楽しかった。楽しい気持ちを近くの人と共有できた
- お話を聞かせていただけで良かったです
- スタッフの一生懸命についていけた
- 進行が上手ですばらしいです、歌と振り、楽しく過ごさせてもらいましたありがとうございました
- 生きるための話しや、声を出し体を動かす、とても楽しい時間でした
- 音楽の選曲が素晴らしい
- しばらく忘れかけていた感覚を呼び覚ますことができました
- 心の豊かさをたいむ?
- 久しぶりに全身を動かすことができました
- 大学の先生が良かった
- 楽しかった(わかくなった心が)
- 元気になれました
- 歌と体操、いつも使わないところが伸びていいです、今日も良い機会をいただきありがとうございました。いつも良い歌をありがとうございます
- 80才からの方向が出来そうです

ご参加いただいた皆様、素敵な感想やお言葉をいただきありがとうございました！

次回は8/27(日) 13時～
真光寺さん(砺波市本町8-4)で開催します。
皆様のご参加お待ちしております！

ちやいむスタッフ/山田 裕子・飯田 正代・小林 徳子・飯田 実里

共催: Curación暮らし音(山田 裕子)

後援: 市立砺波総合病院/富山大学地域連携推進機構 地域医療保健支援部門/四葉広告事務所



〈ちやいむは、地域で病いと生きるを考える場を創る活動です〉